

第1 事業の状況

1、定款第4条第1項1号に掲げる事業は、次により行った。

●子ども自然体験活動事業（公益目的事業）

（1）「子どもゆめ基金

助成活動

①活動名「子ども自然体験塾」

日帰り型

- ・青山慎一先生の『昆虫』不思議発見！（昆虫塾）
“昆虫たちの生活を観察しよう”
- ・鈴木哲夫館長の『地球』不思議発見！（地球塾）
“地球のお腹をちょっと覗いてみよう”
- ・森の番人 薄井五郎博士の『森と生き物のつながり探し』（生き物塾）
“鳥や獣を利用する植物の知恵を学ぶ”

宿泊型

- ・佐藤和利元館長の『オホーツクの海と山』in紋別（オホーツク塾）
“オホーツクの先人や先輩たちの知恵を学ぶ”

②実施日

| 日帰り型 | 1回目 | 2回目 |
|--------------|-------|-------|
| 青山慎一先生の『昆虫塾』 | 7月5日 | 7月26日 |
| 鈴木哲夫館長の『地球塾』 | 8月30日 | 9月6日 |

森の番人・薄井五郎博士
の『生き物塾』

10月4日

| 宿泊型 | 出発日 | 帰着日 |
|------------------|-------|------|
| 佐藤和利元館長の『オホーツク塾』 | 7月30日 | 8月2日 |

③募集対象

- ・日帰り型 小学3年生から6年生
- ・宿泊型 小学4年生から6年生

④募集地区

- ・日帰り型 札幌市とその周辺市町村
- ・宿泊型 札幌市とその周辺市町村

⑤募集方法

- ・日帰り型 ④地区へのチラシ配付
- ・宿泊型 ④地区へのチラシ配付

⑥ 名義後援

- ・青山先生の『昆虫塾』 札幌市、札幌市教育委員会
- ・鈴木館長の『地球塾』 札幌市、札幌市教育委員会
- ・薄井博士の『生き物塾』 札幌市、札幌市教育委員会
- ・佐藤元館長の『オホーツク塾』 札幌市、札幌市教育委員会
紋別市、紋別市教育委員会

⑦ 参加者数

| 塾名 | 参加人数 | | 計画人数 | | | |
|--------|------|----|------|-----|----|----|
| | 子ども | 大人 | 計 | 子ども | 大人 | 計 |
| 昆虫塾 | 32 | 0 | 32 | 30 | 0 | 30 |
| 地球塾 | 28 | 0 | 28 | 28 | 0 | 28 |
| 生き物塾 | 26 | 15 | 41 | 20 | 10 | 30 |
| オホーツク塾 | 32 | 0 | 32 | 32 | 0 | 32 |

合計 118 15 133 110 10 120

※ 満員回答数

- ・昆虫塾 18
- ・地球塾 38
- ・オホーツク塾 14
- ・生き物塾は全員受け付けたため、満員回答者 0

⑧ 事業費

- ・青山先生の『昆虫塾』
 - 事業費合計 628,389 円 前年度
 - * 「子どもゆめ基金」助成金 407,000 円 468,000 円
 - * 参加費収入 32,000 円
- ・鈴木館長の『地球塾』
 - 事業費合計 691,585 円
 - * 「子どもゆめ基金」助成金 430,000 円 —
 - * 参加費収入 28,000 円
- ・薄井博士の『生き物塾』
 - * 事業費合計 338,841 円

| | | |
|------------------|-------------|-----------|
| * 「子どもゆめ基金」助成金 | 227,000 円 | 263,360 円 |
| * 参加費収入 | 20,500 円 | |
| ・ 佐藤元館長の『オホーツク塾』 | | |
| * 事業費合計 | 1,773,496 円 | |
| * 「子どもゆめ基金」助成金 | 699,000 円 | 908,000 円 |
| * 参加費収入 | 640,000 円 | |
| ● 「子ども自然体験塾」 | | |
| * 事業費合計 | 3,432,311 円 | |
| * 「子どもゆめ基金」助成金 | 1,763,000 円 | |
| * 内、参加費 | 720,500 円 | |

⑨ 活動場所

| 塾名 | 1回目 | 2回目 |
|--------|---|---------------------------|
| 昆虫塾 | 野幌森林公園、北海道開拓の村旧札幌停車場第2ホール | 西岡水源地公園、北方自然教育園 |
| 地球塾 | 石山緑地、光竜鉱山、水明郷、支笏湖ビジターセンター | 手稲西小学校「鉱山の部屋」、手稲鉱山、山の手博物館 |
| 生き物塾 | 道民の森（月形地区、神居尻） | |
| オホーツク塾 | 紋別市立博物館、オムサロ遺跡公園、紋別市立青年の家、上藻別駅通所、鴻之舞金山跡、八十土砂金掘り、オホーツクタワー、ホワイトビーチ、道立流水科学センター | |

⑩ 主な活動内容

| 塾名 | | 活動の目的やねらいを達成するための具体的なプログラムと主なポイント |
|-----|------------------|---|
| 昆虫塾 | 昆虫観察と採集 | 異なる環境（住宅地に隣接する自然林、水源地周辺）での観察・採集をとおして、棲息している虫たちの違いを体感し、自然界における昆虫の役割や特性について学習します。 |
| | 青山先生の昆虫のお話 | 進化の過程で身につけた特性や環境に順応した虫たちを青山慎一先生の個人コレクション（世界の蝶・甲虫類）を観察しながら、自然界の不思議な仕組みについて学習します。 |
| | 標本作成 | 標本（蝶・クワガタムシ）作成の実習をとおして、採集時のマナーや採集方法、保存方法について学習します。 |
| 地球塾 | 鉱石・岩石の採取体験 | 鉱山や鉱山周辺で鉱石や岩石の採取体験をしながら、火山活動とどのような関係にあったのか、又、天然資源としてどのように利用されたのかを学習します。 |
| | 火山活動による地形の観察 | 火山活動によってできた地形を観察することにより、どのような火山活動であったのか、また、それをどのようにうまく利用したのかを学習します。 |
| | 採取した鉱石等の鑑定及び標本作成 | 鉱石や岩石の鑑定方法を学び、標本作成の実習をとおして、それらを人類が資源としてどのように活用しているのかを学習します。 |

| | | |
|--------|----------------|---|
| 生き物塾 | 子孫を残す術を知ろう | 鳥や獣の性質に合わせた木や草の子孫繁栄術について自然観察をとおして理解します。学習事項：①鳥と獣では、果実の色や香りに対する感じ方が大きく異なること、②熟した果実の落ちやすさは、鳥と獣のどちらかにタネを広めてもらうかによって決まっていることなどを学習します。 |
| | 「森」を見る眼を養おう | 生き物の生活の場「森」の観察や山の恵み（ヤマブドウなど）の採取体験をしながら、巣、糞等の痕跡や餌に注目しながら、生き物が生活しやすい森の姿を観察します。学習事項：棲息環境（天然林と人工林）の大きな違いを見分け、棲息する生き物の違いを学習します。 |
| | 樹を植えよう | 一人ひとりの手で植樹体験をすることにより森の役割りと守り育てることの大切さを学びます。 |
| オホーツク塾 | 昔の仕事体験、石器づくり体験 | 火おこしや石器づくり体験をして古代人の生活を体感します。から竿を使った脱穀、ドン（ポップコーン）作り体験等昔の人の仕事や工夫の様子を体験しながら、自然の恩恵を生かした昔の生活について学習します。 |
| | 地引網体験と魚・流水学習 | 海底から魚を観察し、海浜での地引網体験によりオホーツク海特有の生き物に触れ、流水から受ける恩恵について学び、豊かな海の環境を守る大切さについて学習します。 |
| | 宿泊体験 | 初めて顔を合わせる子供たちが一緒に寝泊まりすることにより、規律を守ることや助け合うことの大切さを体験し、自分のことは自分でする自力（みずからりよく）の向上を目指します。併せて、毎日日記をつけることにより日々の自分を見つめることや最終日に感想を書くことにより文章を書く習慣を身につけます。 |

⑪ 講師・指導者数

| 塾別 | 外部講師・指導者 | 財団講師・指導者 | 計 |
|--------|----------|----------|----|
| 昆虫塾 | 7 | 2 | 9 |
| 地球塾 | 8 | 5 | 13 |
| 生き物塾 | 6 | 3 | 9 |
| オホーツク塾 | 12 | 2 | 14 |
| 合計 | 33 | 12 | 45 |

⑫ 講師・指導者名

・青山先生の『昆虫塾』

| | | |
|------|-------|------------|
| 塾長 | 青山 慎一 | 北海道昆虫同好会 |
| 講師 | 山内 英治 | 北海道昆虫同好会 |
| 講師 | 高木 秀了 | 北海道昆虫同好会 |
| リーダー | 富岡 一輝 | 北大昆虫研究会 |
| リーダー | 横内 洸 | 北大昆虫同好会 |
| リーダー | 菊池 波輝 | 北大昆虫同好会 |
| 指導者 | 大黒 善夫 | 前豊平区民生児童委員 |
| 責任者 | 河村 耕作 | 財団理事長 |
| 事務局長 | 佐藤 勝信 | 財団常務理事 |

・鈴木館長の『地球塾』

| | | |
|------|-------|--------------|
| 塾長 | 鈴木 哲夫 | 山の手博物館 |
| 講師 | 土屋 篁 | 山の手博物館、財団評議員 |
| 講師 | 内山 幸二 | 山の手博物館 |
| 講師 | 吉岡 修司 | 山の手博物館 |
| 講師 | 櫻間 静恵 | 山の手博物館 |
| 講師 | 若松 幹男 | 山の手博物館 |
| 指導者 | 鈴木 貴文 | 山の手博物館 |
| 指導者 | 岡田奈緒美 | 山の手博物館 |
| 指導者 | 大黒 善夫 | 前豊平区民生児童委員 |
| 指導者 | 竹内 修 | 財団評議員 |
| 指導者 | 岡田 祐一 | 財団理事 |
| 責任者 | 河村 耕作 | 財団理事長 |
| 事務局長 | 佐藤 勝信 | 財団常務理事 |

・薄井博士の『生き物塾』

| | | |
|------|-------|--------------|
| 塾長 | 薄井 五郎 | 道民の森ボランティア協会 |
| 講師 | 開本 孝昭 | 道民の森ボランティア協会 |
| 講師 | 下村 清蔵 | 道民の森ボランティア協会 |
| 講師 | 柳生 修 | 道民の森ボランティア協会 |
| 講師 | 高橋 幸男 | 道民の森ボランティア協会 |
| 指導者 | 大黒 善夫 | 前豊平区民生児童委員 |
| 指導者 | 岡田 祐一 | 財団理事 |
| 責任者 | 河村 耕作 | 財団理事長 |
| 事務局長 | 佐藤 勝信 | 財団常務理事 |

・佐藤元館長の『オホーツク塾』

| | | |
|------|-------|------------|
| 塾長 | 佐藤 和利 | 紋別市立博物館 |
| 講師 | 小林 健一 | 紋別市立博物館 |
| 講師 | 米原ふさ子 | 植物研究家 |
| 講師 | 小玉 勝信 | 上藻別駅通保存会 |
| 講師 | 本吉 春雄 | 湧別川流域史研究会 |
| 講師 | 田代 幸賢 | 農業 |
| リーダー | 水野 君平 | 北大大学院教育学院 |
| リーダー | 今川 達也 | 北大農学部 |
| リーダー | 及川 大輔 | 北大工学部 |
| リーダー | 竹内 文登 | 北大工学部 |
| 養護担当 | 小倉 範子 | 主婦 |
| 指導者 | 大黒 善夫 | 前豊平区民生児童委員 |
| 責任者 | 河村 耕作 | 財団理事長 |
| 事務局長 | 佐藤 勝信 | 財団常務理事 |

⑬ 募集案内チラシ配付箇所及び枚数

| 配付先区分 | 箇所数 | 配付枚数 |
|--------------|-----|--------|
| 札幌市内及び当別町小学校 | 76 | 19,437 |
| 札幌市内児童館 | 0 | 0 |
| 紋別市立博物館 | 1 | 20 |
| 過年度参加者 | 75 | 75 |
| 記者クラブ | 1 | 25 |
| 塾長 | 3 | 80 |

| | | |
|-------|-----|--------|
| 財団関係者 | 12 | 12 |
| 予備 | | 351 |
| 合計 | 168 | 20,000 |

⑭ アンケート

問1 何でお知りになりましたか？

塾別

チラシ

その他

備考（その他の理由）

学校から

HP

昆虫塾

28

1

4

前年度参加3名、友達の誘い1

地球塾

21

2

6

前年度参加者3名、友達の誘い2名、兄が前年度参加1

生き物塾

23

0

4

前年度参加者1名、記述なし3

オホーツク塾

29

0

4

前年度参加者3名、記述なし1

合計

101

3

18

問2 プログラムについて

| | | |
|--------|-----------|-----------------------------------|
| 昆虫塾 | I 今のままでよい | 24 |
| | II 自由意見 | ・バスの中も楽しみにしている |
| 地球塾 | I 今のままでよい | 17 |
| | II 自由意見 | ・回数が増えると更に詳しく勉強できそう ・楽しみにしています |
| 生き物塾 | I 今のままでよい | 14 |
| | II 自由意見 | ・もう少し募集人員を増やしてほしい |
| オホーツク塾 | I 今のままでよい | 18名 |
| | II 自由意見 | ・昨年も参加したので、少し違った定見が含まれると嬉しい |

(2) 出前子ども自然体験活動（札幌市の「まちなか生き物活動」の委託事業）

- ①活動名 守屋 開先生の精進川の水生生物と命のつながり
- ②実施日 8月8日（土）
- ③募集対象 小学4年生以上、但し、3年生以下は保護者同伴であれば参加可
- ④募集地区 主に札幌市内
- ⑤募集方法 札幌市内小学校へチラシ配付及び子ども自然体験塾参加者へDM
- ⑥後援名義 札幌市教育委員会
- ⑦協力 札幌市立中の島小学校、中の島一区第3町内会
- ⑧参加者数

| 参加者数 | | | 計画人数 | | |
|------|----|----|------|----|----|
| 子供 | 大人 | 計 | 子供 | 大人 | 計 |
| 27 | 6 | 33 | 30 | | 30 |

⑨ 事業費

| | |
|----------|-----------|
| 事業費合計 | 499,986 円 |
| * 札幌市委託費 | 498,185 円 |
| * 参加費 | 0 円 |

⑩ 活動場所及び活動内容

- ・精進川（中の島豊中公園河畔）、中の島小学校理科教室
- ・精進川で水生生物の観察と採集
- ・中の島小学校理科教室で顕微鏡を使用して説明と同定
- ・守屋 開先生のお話『精進川の水生生物と命のつながり』
- ・精進川の水生生物調査（守屋 開先生）
- ・精進川河畔の昆虫調査（青山慎一先生）

⑪ 講師・指導者名

| | | |
|------|-------|--------------|
| 主任講師 | 守屋 開 | 札幌市青少年科学館専門職 |
| 講師 | 青山 慎一 | 昆虫調査 |
| 助手 | 吉成 孝志 | 元中の島小学校教諭 |
| 助手 | 本富寿美恵 | 札幌市環境教育リーダー |
| 指導者 | 向 俊孝 | 中の島一区第3町内会長 |
| 指導者 | 菅野 修 | 中の島一区第3町内会 |
| 指導者 | 森田 宏也 | 中の島一区第3町内会 |
| 指導者 | 阿部 兼三 | 中の島一区第3町内会 |
| 指導者 | 天野 修一 | 中の島一区第3町内会 |
| 指導者 | 嶋田 修 | 財団理事 |
| 責任者 | 河村 耕作 | 財団理事長 |
| 事務局長 | 佐藤 勝信 | 財団常務理事 |

(3) 自然体験学習の普及に係る情報発信活動

① 青山慎一先生の子ども世界の昆虫館

昆虫標本のWEBにて公開数

| | |
|----|-------|
| 昨年 | 144 箱 |
| 本年 | 300 箱 |
| 合計 | 444 箱 |

| | |
|-------|------------|
| 事業費合計 | 459,408 円 |
| (謝金) | 30,000 円) |
| (委託費) | 427,680 円) |
| (雑費) | 1,728 円) |

② 主催事業の活動の様子紹介

HP 〈活動のようす (スライド)〉 欄にて紹介